

令和2年度 林野公共事業事業評価技術検討委員会 議事概要

- 1 開催日時 令和3年2月18日（木） 9：55～10：45
- 2 開催場所 北海道森林管理局2階 第2会議室
- 3 出席者 委員：丸谷委員長、樽見委員、庄子委員
局担当者：総務企画部長
森林整備第一課長、森林整備第一課企画係長
森林整備第二課長、森林整備第二課設計指導官
森林整備第二課路網整備係長
監査官、監査係長

4 議事

- (1) 森林環境保全整備事業（事前評価3件）について

5 議事概要

（森林整備第一課企画係長から森林環境保全整備事業に係る事前評価3件について説明）

（委員）

新規要望箇所チェックリストの優先配慮事項の中の「地域材利用の計画」における判定基準について、AとBの区分けはどのようになっているのか。

（局）

Aは「土留工等」木材を多く使用した工法を用いる他、木材利用拡大のために、標準化したもの以外で開発、普及、定着を図る工法を計画するものである。Bは仮設工作物に木材を使用する計画である。

（委員）

ここでいう地域材は現地発生材ということか。

（局）

地域材は、現地発生材だけではなく、北海道内で生産している道産材を指している。

（委員）

資料において「森林整備事業」と「森林環境保全整備事業」が使用されているが、どのように区別しているのか。

(局)

広義の「森林の整備」とは違い、予算上の事業区分。国有林野事業の歳出科目では「森林整備事業費」の細目に「森林環境保全整備事業費」がある。この経費を使用した事業について「森林環境保全整備事業」という。

これにより、森林環境保全整備事業は、更新、保育等の森林整備事業と林道の新設、改良に係る工事等の路網整備事業を指す。

(委員)

宗谷森林計画区の評価個表において、「レブンアツモリソウ保護増殖事業計画」と記載されているが、森林環境保全整備事業と関連しているものであるのか。

(局)

レブンアツモリソウを含む地域固有の高山植物群落を保全するため生物群集保護林を指定しており、礼文島にみられる地域固有の生物群集に配慮した森林環境保全整備事業を計画している。

(委員)

網走東部森林計画区での費用便益の分析結果 (B/C) の 3.19 の値は低いのか。

(局)

宗谷及び胆振東部森林計画区の分析結果 (B/C) は 8 以上の値を示しており、網走東部森林計画区の値と比較すると差はあるが、近年の傾向からも決して低い値ではない。

(委員)

網走東部森林計画区内には世界自然遺産に登録された知床があり、新規要望箇所チェックリストでは地域関係者等から要望又は同意を得ているとされているが、知床世界自然遺産地域科学委員会等にも同意は得ているのか。

(局)

世界自然遺産に登録された知床は網走東部森林計画区内であるが、当該地域においての事業は予定されていない。

なお、事業が予定された場合は知床世界自然遺産地域科学委員会等にも同意を得ることとしている。

以上